

CFP算定による製品GHG排出量の見える化 ～白身魚タルタルソースを事例に～

2024年3月13日



マルハニチロ株式会社
経営企画部
サステナビリティ推進グループ

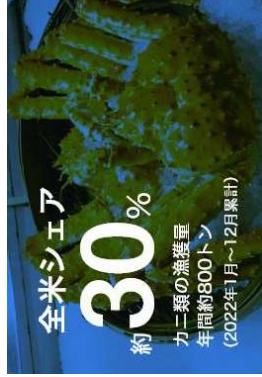
マルハニチログループについて



約 **70** の国と地域に
取引先 (2020年1月現在)



民間企業で初めて
クロマグロの
完全養殖に成功した年
2010 年



全米シェア
約 **30** %
カニ類の漁獲量
年間約800トン
(2022年1月~12月累計)



全米シェア
27 %
スケソウダラの漁獲量
年間約260,200トン
(2022年1月~12月累計)



153 社
グループ会社数
(2023年4月現在)



約 **40** 億缶
缶詰「あけぼのさけ」の累計出荷数
(2023年4月時点/自社調べ)
産生年1910年



介護食品目数
168 品目 (2023年4月現在)
国内シェア1位 (2021年度 シード・ブランニング調べ)



1 位
冷凍調理
(種類：ラーメン・うどん・そば)
(スープ付き・具付き)
年間販売金額 (累計)
インテージSRI (2008年10月~2017年9月)
SRI+ (2017年10月~2022年9月)



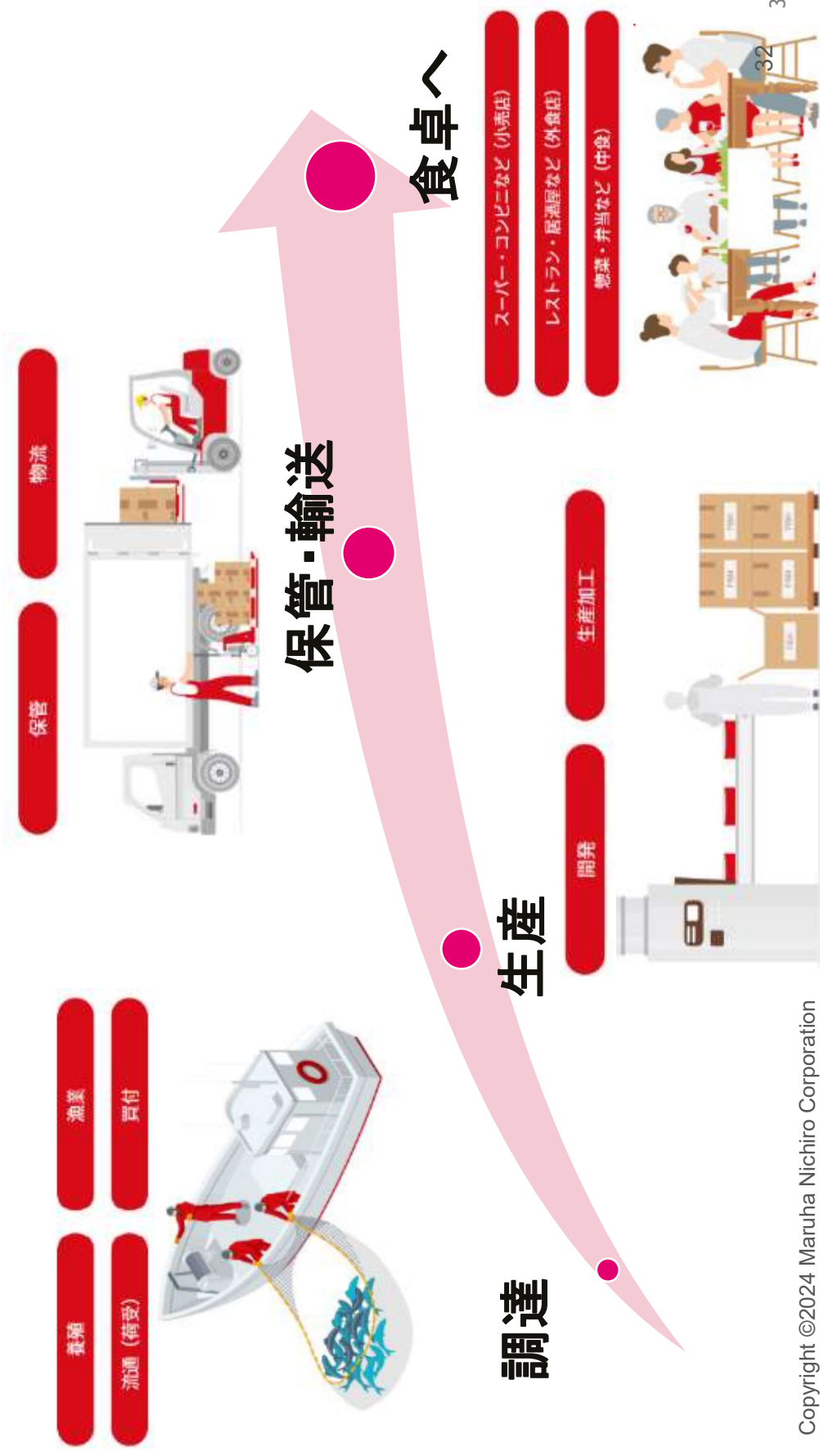
DHA(食品用)
生産量国内シェア
約 **50** %
(2023年4月時点/
累計・自社調べ)



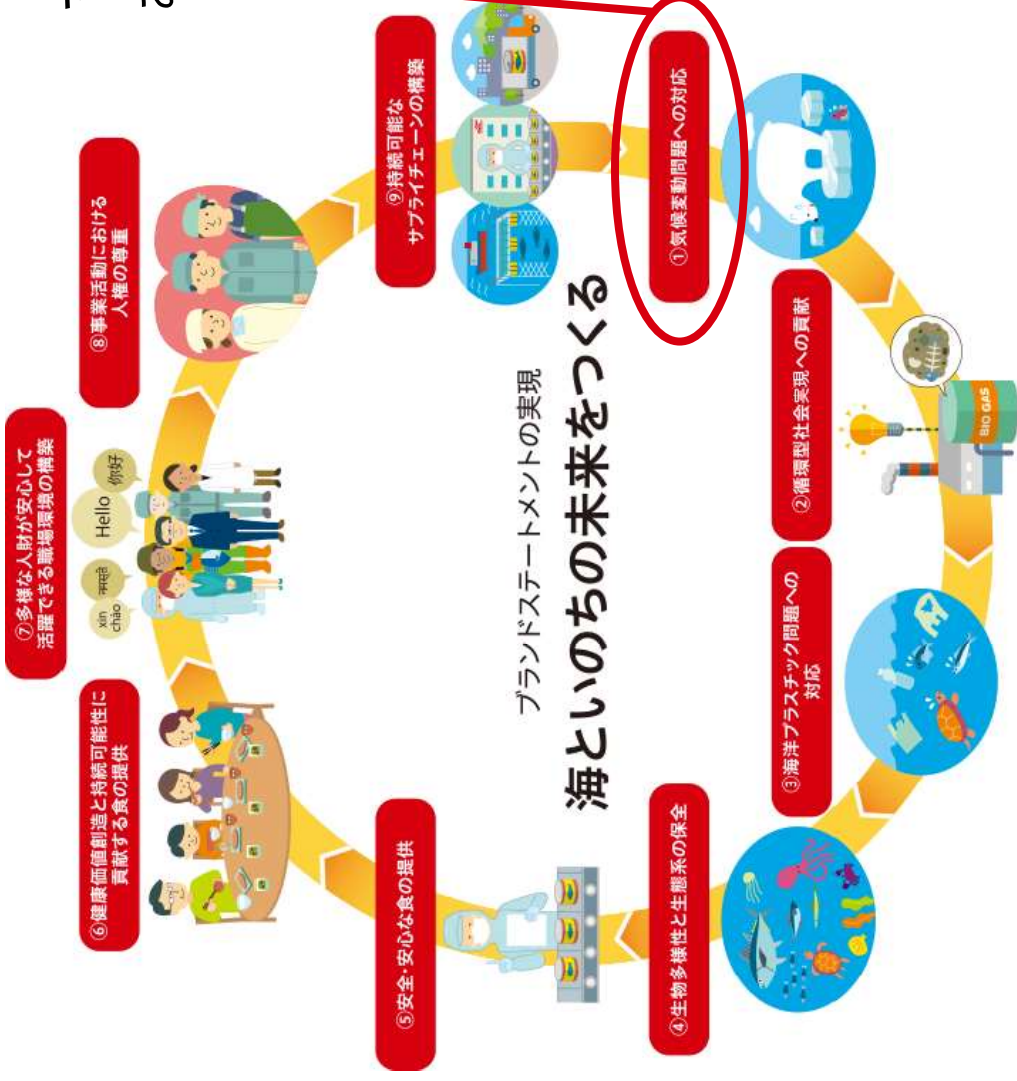
MARUHA NICHIRO
海といのちの未来をつくる

マルハニチログループについて

マルハニチログループは、グローバルな水産物調達力を生かし、一貫したバリューチェーンを通じて世界の人の食を支えています。

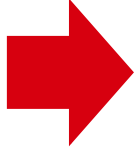


マルハニチロのサステナビリティ戦略



マテリアリティ“気候変動問題への対応”における目標

- 2030年度に、CO₂排出量30%削減 (2017年度比)
- 2050年度に、カーボンニュートラル達成



目標を達成するために

- CFP算定・表示の実務上のノウハウを蓄積
- 顧客訴求の効果を推定
- 製品のライフサイクルにおけるGHG排出量削減の可能性を検討

を目的に本モデル事業に参画

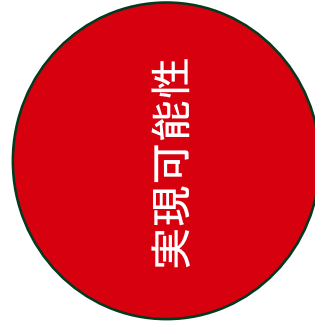
本モデル事業におけるCFP算定対象製品

対象製品はインパクトと実現可能性の両面から絞り込み



ブランディングの期待効果が高い

- 弁当向け冷食における年間売り上げシェア
- 年間販売数
- 一般消費者の認知度
- MSC認証のスケトウダラを原料に使用



算定に必要な工数が少ない

- 原料調達、製造、販売まで一貫して自社で実施
- スケトウダラのLCにおけるCO₂排出量は既知
- サプライヤー様の協力見込み



製品名: 白身魚タルタルソース

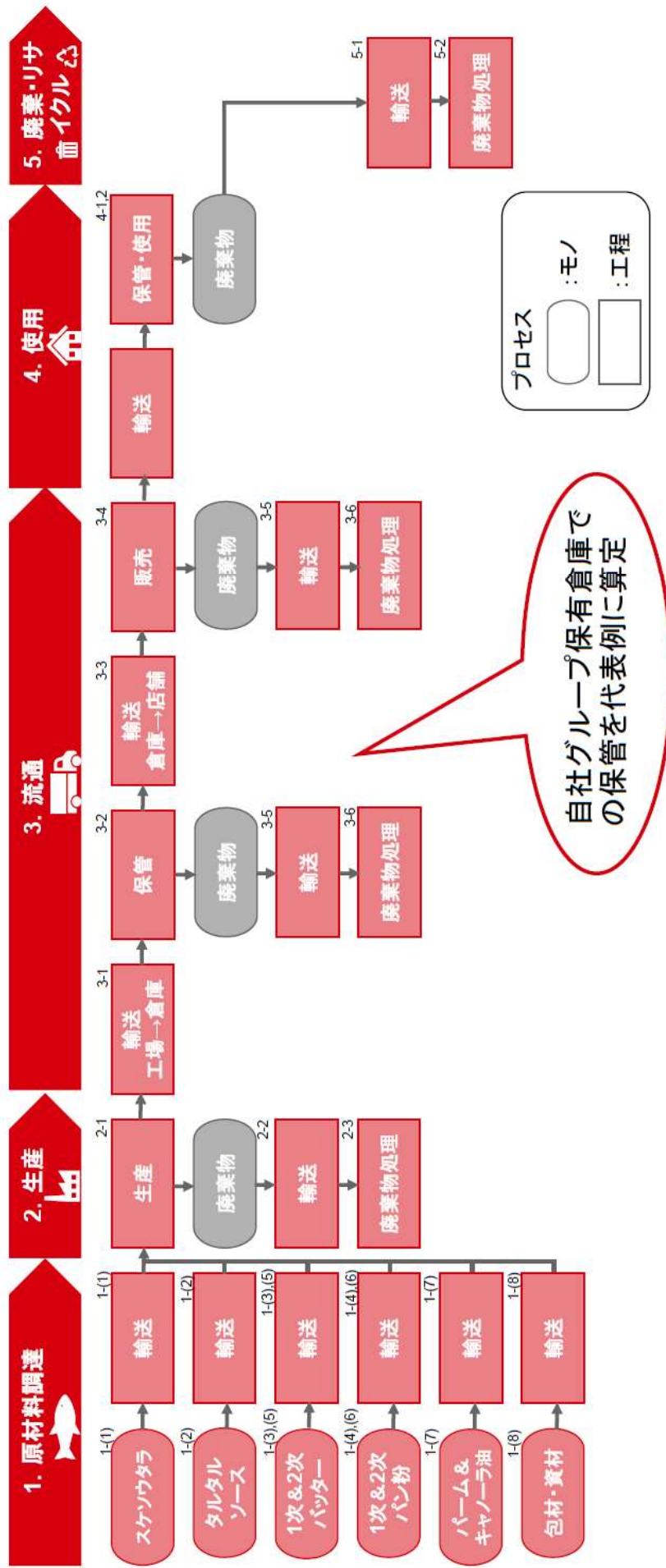
内容量: 6個入り (126 g)

商品コード: 67985

生産工場: 新石巻工場

主要原料: アラスカ産スケトウダラ
(MSC認証水産物)

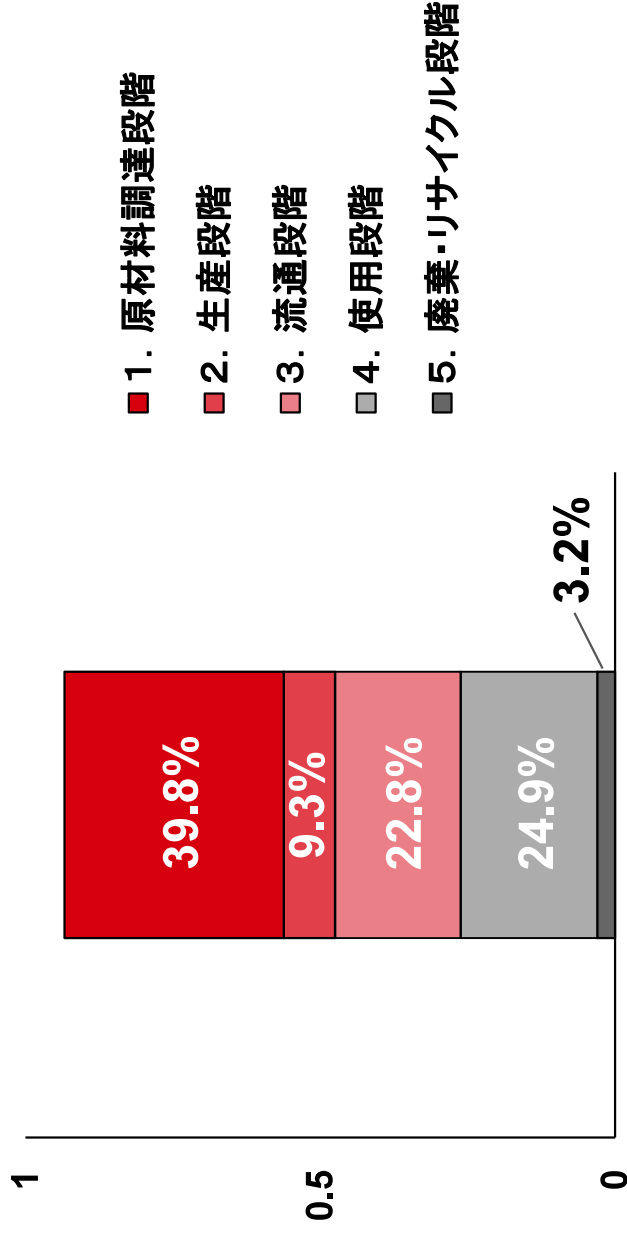
ライフサイクルフロー図



CFP算定結果

本製品のCFP算定結果:

0.93 kg-CO₂eq



準拠する規格/解釈

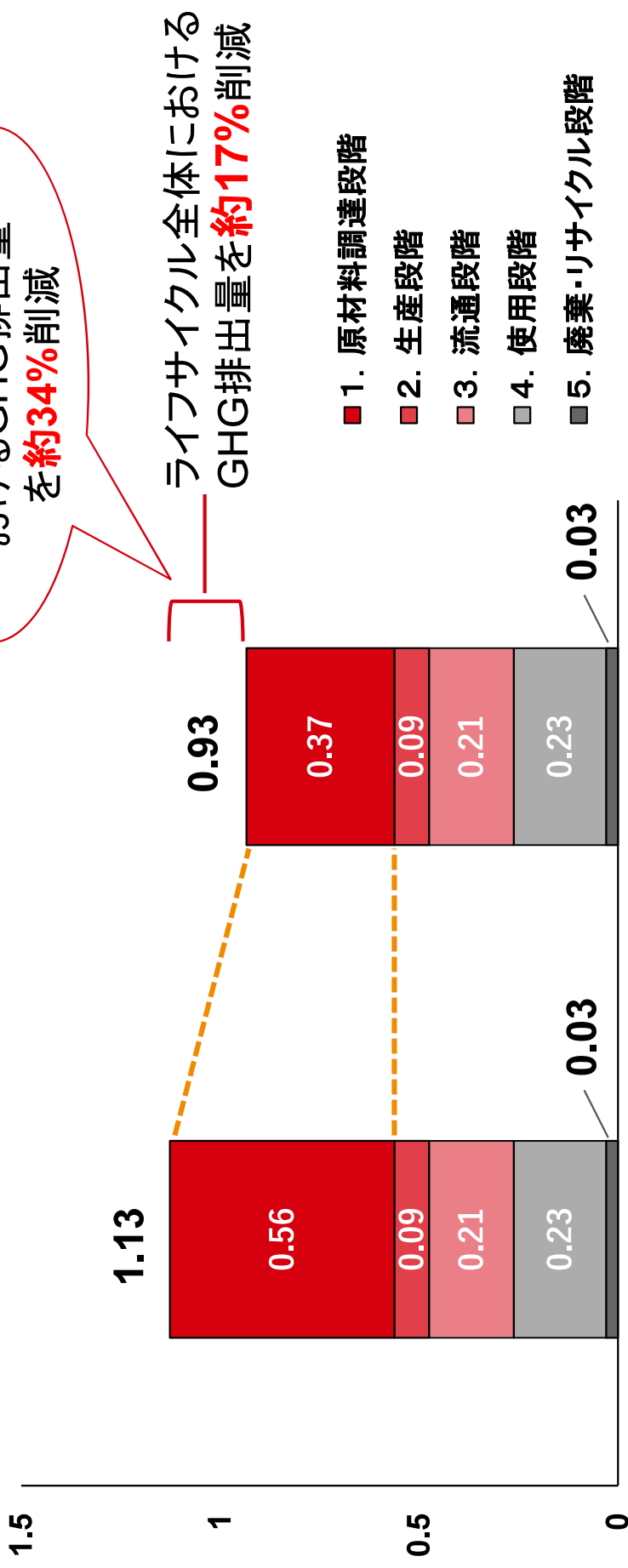
CFPガイドライン/ISO14067: 2018 (関連規程含む) を参照

他社比較ではなく、“自社製品の算定・表示” の場合の規定を踏まえる

CFP算定結果 — スケトウダラ排出係数の比較

MSC認証のアラスカ産スケトウダラの排出係数を用いることにより、GHG排出量を削減

単位: kg-CO₂eq



一般的なスケトウダラ

アラスカ産スケトウダラ

表示・開示、今後の予定

表示・開示:

- ・当社ウェブサイトでプレスリリース
- ・当社サステナビリティサイトに掲載

今後の予定:

- ・CFP算定により明らかになった各ライフサイクルにおける削減施策の実施
- ・2024年度以降、当社他カテゴリー(缶詰・フイッシュソーセージなど)の主力製品について、CFP算定を実施予定



※主力製品例

NEWS RELEASE MARUHA NICHIRO
マルハニチロ株式会社 コーポレートインフラ部
〒100-8588 東京都千代田区千代田 1-10-10 TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1000

2024年3月11日

～MSC漁業認証アラスカ産スケトウダラ使用によりCO₂排出量を約17%削減～
冷凍食品「白身魚タルタルソース」のCO₂排出量を見える化

マルハニチロ株式会社（本社所在地：東京都江東区、代表取締役社長：池田 眞、以下、マルハニチロ）は、2023年8月に、環境負荷を低減する「魚介5年産 製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモダリティ」の参加企業に選出され、マルハニチロの主力商品である冷凍食品「白身魚タルタルソース」を対象に、商品ライフサイクルのCO₂排出量を見える化しました。

同事業は、カーボンフットプリント（以下、CFP）の算定および表示、活用に関する先進的なロールモデルの創出により、日本におけるCFPの取組の裾が拡大、生活者が能動的に貢献する製品・サービスで選ばれる社会を実現することを目指しています。

CFPとは、商品やサービスの製造・流通・使用・廃棄の各段階で排出されるCO₂の量を算定し、製品やサービスのライフサイクル全体で排出されるCO₂の量を算定する指標です。

冷凍食品のカーボンフットプリントの算定を実施

0.93 kg-CO₂eq



2023年8月に、当社は環境省が主催する「令和5年度製品・サービスのカーボンフットプリント（以下、CFP）に係るモダリティ事業」の参加企業に選出されました。同モダリティ事業におけるCFP算定対象製品として、当社の主力製品である「白身魚タルタルソース」を選定し、原材料調達から製品の使用・廃棄まで、一連のライフサイクルにおけるCFPを算定しました。本製品の特長として、環境に配慮したMSC漁業認証取得アラスカ産スケトウダラを原材料に使用しています。アラスカ産スケトウダラの原単位を用いて算定したCFPは0.93kg-CO₂eqで、一般的なスケトウダラの原単位を用いて算定するよりも、CFPを約17%削減することができました。当社は今後、他の主力製品のCFP算定を進めていくとともに、環境に配慮した原材料を用いた食を積極的に提供し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでまいります。

CFP算定報告書

※プレスリリース(左)と当社サステナビリティサイト(下)「環境価値」の創造 | サステナビリティ | 企業情報 | マルハニチロ株式会社 (maruha-nichiro.co.jp)

Thank You



MARUHA NICHIRO

海といのちの未来をつくる